



ジャストローのジャストロー錯視について

北岡明佳 (立命館大学総合心理学部)

RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

同じ大きさのかまぼこ形 (厚みのある弧) を2つ平行に並べると、弧の中心側に置かれたかまぼこ形が大きく見える。この現象はジャストロー錯視 (Jastrow illusion) と呼ばれる (Figure 1)。実際にはこれはジャストロー (Jastrow, 1892) が発表した錯視ではなく、ミュラー＝リヤー (Müller-Lyer, 1889) が発表した錯視である (Figure 2)。ミュラー＝リヤー錯視 (Müller-Lyer illusion) で有名なそのミュラー＝リヤーである。一方、でジャストローがその錯視に名前を残すきっかけとなった類似の大きさの錯視 (ジャストローのジャストロー錯視) (Figure 3) も錯視量が多く、重要な錯視であると考えられる。仮想線の鋭角過大視錯視説、遠近法説、大きさの対比説を考察する。

Figure 1

ジャストロー錯視 (Jastrow illusion)。2つのかまぼこ形は同じ大きさであるが、下の方が大きく見える。

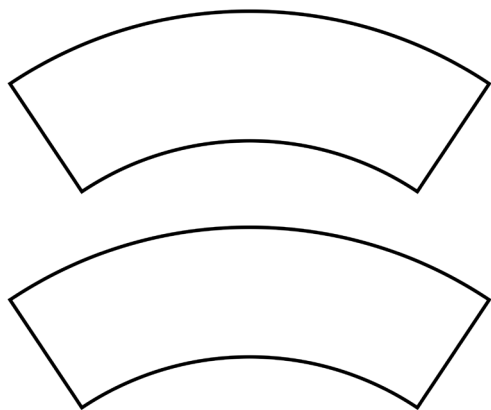
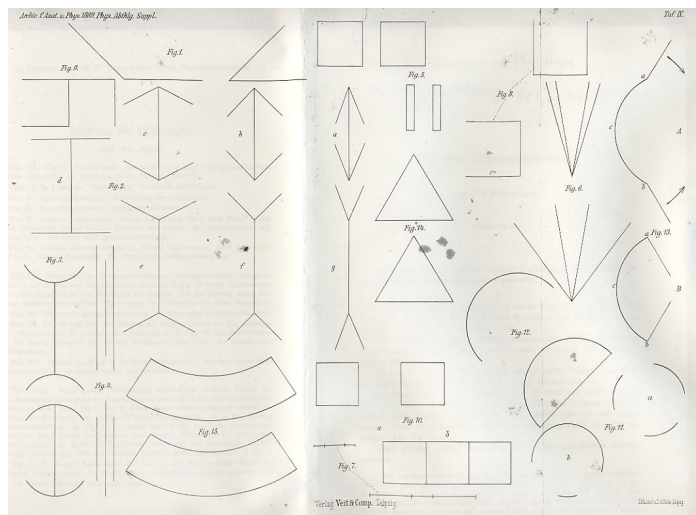


Figure 2

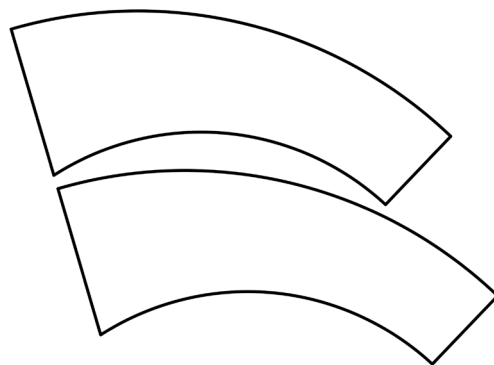
Müller-Lyer (1889) の図。Fig. 15 は、今日知られている図とは上下さかさまであるが、ジャストロー錯視そのものである。



Müller-Lyer, F. C. (1889). Optische Urteilstäuschungen. *Archiv für Anatomie und Physiologie, Physiologische Abteilung*, 2, 263-270.

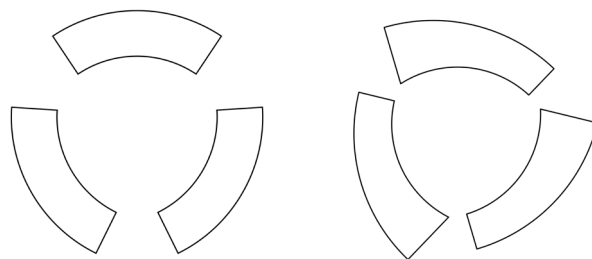
Figure 3

ジャストローのジャストロー錯視 (Jastrow, 1892)。片側が先細の形状の2つのかまぼこ形は同じ大きさであるが、下の方が大きく見える。



Jastrow, J. (1892). Studies from the Laboratory of Experimental Psychology of the University of Wisconsin: II. (A study of Zöllner's figures and other related illusions. pp. 381-398). *American Journal of Psychology*, 4(3), 381-428.

p.s. フラクタル・パセリ錯視 (安田・伊藤・渡邊・高木, 2024) の亜種として、かまぼこ形を用いた新しい幾何学的錯視を考案した。3つのかまぼこ形の大きさは同じであるが、下の2つは上のものより大きく見える。



安田・伊藤・渡邊・高木 (2024). フラクタル・パセリ錯視 第16回錯視・錯聴コンテスト グランプリ受賞作品